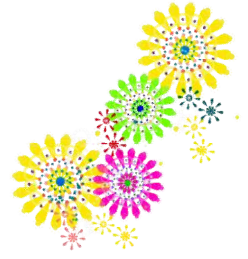




新屋図書館だより



発行：秋田市立新屋図書館

秋田市新屋大川町 12-26 ☎ 018-828-4215

<https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/1008848>

No. 235

R3. 8月号

夏休み自由研究の相談は新屋図書館へ！

小学生を対象に子ども専用カウンターを設置し、夏休みの自由研究に使える本の検索方法、百科事典の使い方、おすすめの本の紹介など、司書がお手伝いをします。

日時 8月21日（土）・8月22日（日） 午前10時～正午

場所 新屋図書館 児童コーナー



エイジフレンドリーシティパネルを展示します！

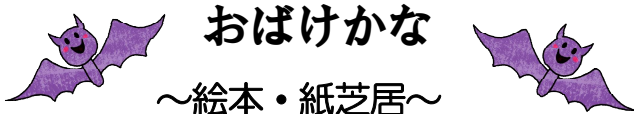
市が推進しているエイジフレンドリーシティについての取組みや、市民の意識調査の結果などをパネルで紹介します。期間中は、関連図書の展示や貸出しも行います。

期間 8月3日（火）～8月22日（日）

場所 新屋図書館 渡り廊下

8月のおはなし会

8月7日（土） 14:00～14:20



おばけかな

～絵本・紙芝居～

研修室（幼児・小学生）

8月17日（火） 10:30～10:50



夏 いっぱい

～絵本・紙芝居～

研修室（赤ちゃん～）



新刊案内

マンガでわかる楽しい草取り

西尾 剛／著 坂木 浩子／イラスト

誠文堂新光社 請求記号 615.6 (除草)

取っても取っても生えてくる雑草を抑えるのは重労働です。特に梅雨明けからの成長は驚異的！場所別の草取りのコツや絡みつく草の撃退法を知ったり、可憐な花が咲く草や食べられる草など、それぞれの特性・特徴を覚えたりすると大変な作業でも楽しくなるかもしれません。

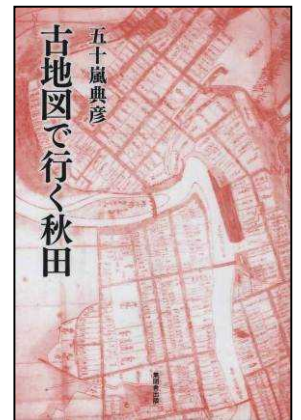


古地図で行く秋田

五十嵐 典彦／著

無明舎出版 請求記号 A291 (秋田県の地理)

秋田県内の各町を城下・在方・港・鉾山・門前に分類して、現代の地図と古地図を見比べて歴史的な背景などを考察する本です。新屋地区も掲載されているので、この本を片手に昔の新屋を想像してみるのも面白いですよ。



どうしても頑張れない人たち ケーキの切れない非行少年たち2

宮口 幸治／著

新潮社 請求記号 368.71 (少年犯罪)

児童精神科医の観点から「頑張りがたくても頑張れない人」の中で起きていることを解説。場合によっては犯罪のきっかけにもなりかねない認知機能の弱さには、教育現場を含めた周囲の理解と支援が必須です。前作『ケーキの切れない非行少年たち』も参考になります。



チーターじまんのてんてんは

みやげ ゆま／作

BL出版 請求記号 Eミ (絵本) ※4歳ころから

チーターの体には、自慢の黒い“てんてん”がたくさんあります。ある寒い日、「ハーックション！」と大きなくしゃみをしたら、なんとてんてんが体から飛んでいってしまいました。くしゃみをするたびに動物たちに次々とてんてんが移って行って…。どうする、チーター！



図書館員（菊地 誠）のおすすめ本

書名	白鳥の歌なんか聞えない
著者名	庄司 薫／著
出版社	中央公論新社
所蔵	イソップ
	請求記号 Fシ （日本の小説）



刊行されてから今年が半世紀アニバーサリーの名作で、私が終生大切にしている青春小説をご紹介します。

物語は、主人公薫の幼なじみ由美が、偶然、ある偉大な知識人の死と向き合うことになって動揺してしまう。その姿を見つめる薫の数日間を描きます。薫は、生とは、知とは、愛とは、老いとは、男の優しさとは、に煩悶します。

作者自身の深淵な苦悩を描いた純文学でありながら、文体は、軽妙だったり饒舌だったりします。一例をあげると、近所のお屋敷町を2人で散歩して、木蓮の香りに春を感じる場面があるのですが、これぞ名人芸、と思わずうなってしまうような楽しい描写なのです。

一度、この寡作の天才作家の手練手管にはまってみてはいかがでしょうか。

図書館員（佐藤 美郷）のおすすめ本

書名	エルマーとブルーベリーパイ
著者名	ジェーン・セアー／さく シーモア・フレイシュマン／え おびか ゆうこ／やく
出版社	ほるぷ出版
所蔵	新屋、明德、土崎、河辺 請求記号 Eフ （絵本） ※小学1年生ころから



妖精のエルマーは、人間の家に住んでいます。この家で焼いたブルーベリーパイをつまみ食いしたら、とろけるように甘くてとっても美味しい！もう一度食べたくなくて、人間の前で飛び跳ねたり、大きな声で叫んだりします。しかし、エルマーの姿は人間には見えず、声も聞こえないので、誰にも気づいてもらえません。なんとか自分の存在に気付いてもらおうと、あ

る作戦を立てるのですが…。エルマーは美味しいパイをもう一度食べることができるでしょうか？

『ぐりとぐら』のカステラ、『11ぴきのねことあほうどり』のコロッケなど、絵本に出てくる食べ物はとりわけ美味しそうに見えています。本書も同じ。焼きたてのパイ、美味しいだろうなあ。

記事になったお酒の話題あれこれ・・・5種類のラベル一新・・・

秋田公立美術大学コミュニケーションデザイン専攻の学生16人の案から選ばれたものが、地ビール「あくら」のラベル新デザインとして採用されました。

新聞記事によると、デザインした畠山明海さんは「傘を差す人物の顔を隠すことで、人物の人柄や表情を飲む人に想像させ楽しめる仕掛けも入れた」とのことです。

美大生の活躍ぶりを見ながら、おいしいお酒が飲めるのは幸せですね。

新屋は、醸造の街。
新屋図書館には、酒の
資料コーナーがあります。

【参考資料】

読売新聞

2021年7月3日

今、あなたへ...涼を感じる...



暑い日が続く中、本で涼しくなってみてはどうでしょう？

まずは『世界の雪景色』（海野 弘／著、パイインターナショナル）。真っ白で幻想的な雪景色は視覚からあなたを涼しくしてくれるかもしれません。

夏は冷たいものがほしくなる季節です。『冷凍フルーツのひんやりスイーツ』（あまこ ようこ／著、主婦の友社）は冷凍フルーツを使用したプリン、アイス、スムージーなど身体の芯から冷やしてくれるレシピが豊富に載っています。

最後は『山怪』（田中 康弘／著、山と溪谷社）で背筋が凍る体験をしてみたいかがでしょうか？山で働き暮らす人々が実際に山で体験した不思議な話を収録。新屋図書館では第3弾まで所蔵しています。

夏だからこそ楽しめる本もあります。この機会に是非！

図書館員のひとりごと

雄物川の堤防の散歩が、心身のリフレッシュの一つになっている。不規則な軽い運動であるが、堤防から眺める自然の四季の移ろいを感じながら、心地良い足の疲れの満足感に浸っている。

堤防の内外で始まる畑の耕作に春の到来を実感し、河川敷ゴルフ場の薄緑色の芝生とピンク色の桜並木のコントラストに目を癒され、夏には緑が濃さを増し、堤防斜面に咲く黄色の花々も加わり景色が模様替えとなる。身近な場所でも、自然に心を向け、触れ合うことで元気が湧いてくる。ちょっとした至福の時間だ。

(平山)

7月に20歳になりました！たくさんの方々に祝福していただき、幸せな気持ちになりました。私の周りの友人も誕生日を迎え、もうハタチなのかと驚いてしまいます。私も実感がなく不思議な気持ちです。

お酒が飲める歳になり、さっそく「ほろよい」を飲みました。とても飲みやすくおいしかったです。兄も、このシリーズのお酒が好きで飲まれないかと、そわそわしてしまいます。

徐々にさまざまな種類のお酒を楽しみたいのです。これからがスタート。色々なことにチャレンジして頑張ります！

(石井美)